

発足式・茶摘み（5月8日）の活動報告

5月8日（日）、発足式と緑茶づくりをしました。

参加者はこども6人、保護者2人、スタッフ5人の合計13人でした。

発足式は2年ぶりの開催。河井市長もあいさつしてくださり、昔は各家庭でお茶の木を育てほうじ茶を作っていた話などしていただきました。

また、昨年の活動数は少なかったけれど、5回以上参加のアースレンジャー認定や3年6年連続の銀バッジ・金バッジの表彰を受ける子どもたちもいました。

お茶摘みは、州見台の尾崎邸のお茶の生垣でさせていただきました。晴天の中、尾崎さんからお茶の摘み方やお茶の木の話を聞き、根気よくみんなでお茶を摘みました。

緑茶づくりは、殺青を電子レンジで行い、後揉捻をホットプレートで行いました。ひたすら温めては揉むことを繰り返すこと1時間、まだ少し水分は残ったものの、それらしく緑茶ができました。4つのテーブルで作ったお茶は、飲み比べると色も渋みも違って、同じ葉でも熱の入れ方や揉み方の違いで味も変わってくるものですね。

でも、どれも新茶のさわやかさが香り、おいしく仕上がったと思います。

その他、鹿背山で育てる綿の種を渡して、各家庭で苗まで育ててもらうようお願いしました。さあどれだけの苗が育つか。



川の水質・生き物調査（6月5日）の活動報告

6月5日（日）、川の水質・生き物調査をしました。

参加者はこども21人、保護者10人、中嶋先生、スタッフ7人の合計39人でした。鹿背山の里山で、池や川の生き物をつかまえて観察をしました。カエルやオタマジャクシ、ヨコエビ、サワガニ、イトトンボなどいろんな生き物が見つかりました。活動場所の奥のほうではササユリも見つかりました。

また、こどもたちの中で希望者を募り、中切川の水質のCOD測定も行いました。これは6月5日の“世界環境デー”にあわせて毎年実施される全国一斉水質調査の一環で行うものです。COD値は4で、例年と変わらず、ますますきれいな状態です。

市役所に戻ってからはみんなで班に分かれて地図作りを行いました。みんな少しお疲れぎみでしたが、池や川で見つけたいろんな種類の生き物を一生懸命描いてくれたので、地図はとても生き生きしたものになりました。

こうして自分たちの手を動かすことで、こどもたちの中に残るものがあると思います。



夏の里山活動体験（7月17日）の活動報告

7/17（日）に鹿背山で夏の里山体験活動を行いました。参加者はこども9人、保護者5人、サポーター3人、事務局3人の計20人でした。

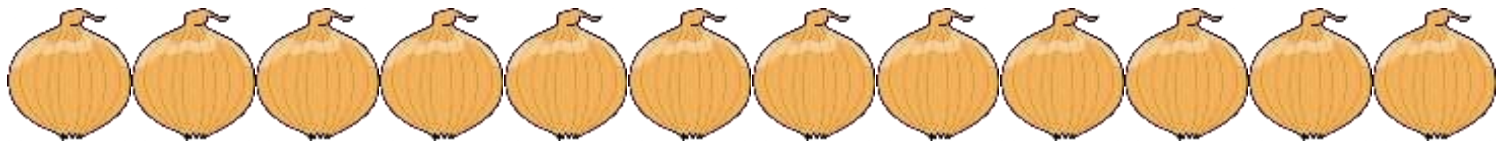
まずは、エコクラブ基地の整備作業を行いました。下草を刈り、倒木の大きな枝をみんなで順にのこぎりを使って小さく切りました。

続いて、昆虫観察ではT字型に飛ぶタマムシ、小さな体に長い触角のハネナシコロギス、レース状に葉っぱを食べているマメコガネの集団など、いろいろ見つけました。中には共食い中のカマキリを目撃した人もありました。

セミの抜け殻調査は、今年もたくさんのアブラゼミとニイニイゼミ、ヒグラシの抜け殻を集めることができました。

その他、綿畑で草引きをし、綿の小さなつぼみも見つけました。大きな綿に育ってほしいですね。





染色教室（8月7日）の活動報告

8/7（日）に木津保健センターで染色教室を行いました。参加者はこども6人、保護者4人、サポーター3人、事務局2人の計15人でした。

サポーターの田中さんの指導のもと、たくさんの玉ねぎの皮とお茶ガラを使って、ふろしきを染めました。

90cm 角の大きな布なので模様を作るのも大変！わりばしやボタン、輪ゴム、洗濯バサミなどを使って、自分だけのふろしきを染めました。

染液や媒染液につけている間に、サポーターの小澤さんの「ふろしきの使い方教室」で、「真結び」や「ひとつ結び」などの結び方や、ウェストポーチやリュックなど、いろんな使い方も学びました。

また、ふろしきを帽子やバケツに変身させて、災害時に活用できることも教わりました。

あっという間の3時間でしたが、参加の保護者の方にも楽しんでいただけたようです。





ほうじ茶作り（９月１９日）の活動報告

９／１９（祝・月）に加茂町例幣にある「寺子屋 やぎや」でほうじ茶作りを行いました。参加者はこども１０人、保護者３人、サポーター２人、事務局３人の計１８人でした。

やぎやの炭本さんご夫婦に茶畑を案内していただき、お茶の実を拾ったり、茶畑の風景を楽しみました。お茶作りのお話を聞いたあと、お茶摘みも体験しました。

その後、やぎやさんにお邪魔しました。白ヤギさんと黒ヤギさんがお出迎えしてくれて、こどもたちもビックリ！人見知りのヤギさん達なので近付けなかったけど、とてもかわいかったですね。

そしていよいよほうじ茶作り。ほうろくで茶葉を煎ると、だんだん香ばしい良い香りがしてきます。でも、注意しないとすぐに黒くこげてしまいます。保護者の方も参加して、みんなで代わるがわる煎りました。

煎りたてのお茶を飲んでみると、とっても美味しく香りも良かったです。

各班で同じように煎りましたが、お茶にして飲んでみると味が違いました。

やぎやさんに茶葉の持ち帰り用パックもいただき、みなでお絵描きをしてオリジナルのお茶パックを作り、自分で摘んだ茶葉を持ち帰りました。

台風が近づいている中、お天気が心配でしたが、なんとかお天気がもってくれて助かりました。



秋の里山活動体験（10月23日）の活動報告

10/23（日）に鹿背山で秋の里山活動体験を行いました。参加者はこども7人、保護者1人、サポーター4人、事務局3人、鹿背山元気プロジェクトの大門さんの計16人でした。

たき火で焼き芋づくり、里山整備、綿の収穫などをしました。

たき火はこどもたちをととても生き生きとさせてくれるものと再認識させてもらいました。いろいろな小枝を火にくべたらどうなるか？マシュマロを上手に焼きたい、焼き板を作ってみたい、などなど、火の周りにこどもたちは引き寄せられていきます。

それには、的確なアドバイスをくれる大人の存在も大事で、大門さんの協力はありがたい限りです。

今回はこれまでの反省で、しなくてはいけないことを減らし、のんびりと過ごせたことで、こどもたちそれぞれでやりたいことを楽しめたと思います。穏やかな秋の日和にちょうどいい活動になったと思います。



木津川水辺のゴミ見つけ（11月6日）の活動報告

11月6日（日）に、木津川を美しくする会木津川支部主催で行われた木津川一斉清掃にあわせて、「木津川水辺のゴミ見つけ」を実施しました。参加者はこども6人、保護者6人、サポーター3人、事務局2人の計17人でした。ちょっと暑いぐらいの良いお天気の中、木津川河川敷で昨年と同じようにゴミ拾いをしました。

台風による増水が少なかった今年は、上流からの漂着物も少なく、あまり無いかもと始めたのですが……一か所でたくさんのビービー弾を集めてくれたり、茂みの中からテレビを3台も見つけてくれたり、残念ながらごみは見つかるものです。

最後になって大量の袋に詰められた雑多な不法投棄のごみが見つかり、本当にがっかりな気持ちになりました。

でも少なくとも今回集めたごみが海へと流れつくことを阻止できたと、こどもたちの努力をありがたく思いましょう。ごみを捨てた人たちにこどもたちの姿をみてほしいものです。



綿の実から糸を紡いでミサンガを作ろう (12月4日)の活動報告

12月4日(日)に、イオンモール高の原で開催された環境イベント「エコフェスきづがわ」にあわせて、「綿の実から糸を紡いでミサンガを作ろう」を行いました。参加者は午前の部が10人、午後の部が9人、サポーター6人、事務局2人でした。

エコクラブの活動で、スピンドルを使った糸紡ぎは今回が初めてでした。こども達は慣れない手つきでしたが、諦めずに限られた時間の中で、可愛い糸を紡ぎ出しました。段ボールで作った簡易織り機に張ったたて糸に、この糸と毛糸を混ぜて織って、ミサンガが出来上がりました。

わたくし、糸車での糸紡ぎの実演などもできたらよかったのですが、これは3月の振り返りパーティでのお楽しみに。

午後の部は、一般のこども達も参加。(と言っても午前の部は定員10人がすぐに埋まってしまったため、申し込みなかったエコクラブ会員のこども達が半分以上でした。)一般のこども達もお母さん達も、これをきっかけにエコクラブの活動に興味を持ってもらえたら嬉しいです。



さすてな京都 見学（1月22日）の活動報告

1月22日（日）に、京都市南部クリーンセンターの環境学習施設「さすてな」の見学が、コロナ自粛期間を経てようやく実現しました。

参加者はこども9人、保護者3人、サポーター4人、事務局2人の計18人でした。

2年の延期にも関わらず、施設はまだまだキラキラの新品感いっぱい、立体的に撮影できるパッカー車の壁画や、見ることのできない機械の内側を見せるタブレット映像など、リアルな体感ができるよう工夫されていました。

煙突の上部に作られた展望台は360° 京都の街並みが展望でき、素晴らしい眺めとともに、煙突の高さを実感できました。

また、自転車発電などを楽しむ施設もあり、こどもたちは自由に楽しく体験していました。

一方、燃えるごみの焼却炉の下にできたという大きなアルミの塊などは、ゴミの分別の必要性をしっかりと訴えかけてきました。

2時間の見学時間はとても濃密な時間でした。



豚汁作り&工作（2月19日）の活動報告

2月19日の冬の里山活動は雨天のため、保健センターを借りての豚汁作り&工作となりました。

参加者はこども9人、保護者1人、サポーター5人、事務局3人の計18人でした。

豚汁の野菜はほぼ地元木津川市産のもの、おみそも立花さん手作りで、フードマイレージに削減を図った食材を集めました。

調理実習の機会が限られていたこどもたち、でもお手伝いは家でよくしているのかな、嬉々として材料を切ってくれました。

豚汁が煮えるまでの時間は、採りためていた木の実や麦わらを使っの工作の時間。

思い思いのどんぐりの可愛らしい人形や麦わらストラップができました。

山には行けなかったけど、山の恵みで楽しく過ごすことができました。

豚汁もおいしくできて、見事完食！おまけの焼いたマシュマロもおいしかったね。

今日できなかった綿畑作りはまた日を改めて。その時は里山遊びを楽しみましょう。



ふりかえりパーティー（3月18日）の活動報告

3月18日に市役所会議室でふりかえりパーティーを行いました。参加者はこども11人、保護者5人、サポーター4人、事務局2人の計22人でした。

まずは、綿の実から糸を作るまでの体験。きれいにシート状にまとめた綿から、スピンドルを使って糸を紡ぎ出す方法を教えてもらい、糸づくりにチャレンジ。これがなかなか難しい。先生の手からは面白いように細い糸が伸びていくのに、自分たちでやってみると、すぐ切れたり太さもまちまち。でも中にはコツをつかんで、だんだん長く糸を作れるようになったり、太さの変化する糸は味わい深いものにも感じられたりもしました。

一方、今年収穫した綿の実から、綿繰り機を使って種を外す作業も体験。くるとハンドルを回すと、面白いように綿から種が外れていき、夢中になる人もありました。綿くりを済ませた綿を弓で弾いて、やわらかくほぐす綿打ちも体験。どれも単純作業を繰り返すものですが、それぞれに好みの作業があり、夢中であつという間に時間が過ぎていきました。

その後は、今年楽しかったことや来年したいことを書き出してもらいました。今年楽しかったことは、各行事に分かれていて、どの行事も楽しんでもらえたようでした。

来年度やってみたいことは、里山での調理や工場見学、綿の実を使った工作などが挙がっていました。いくつ実現できるかな？

最後に、おやつタイムで立花さんお手製のパウンドケーキをみんなでいただきました。鹿背山産の栗が入っていて、とても美味しかったですね。

